



# 学校だより

令和元年 6月28日(金)

第786号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

## コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)

校長 飯島 政範

1学期も残すところ1ヶ月となりました。ここまで大きな事故もなく、子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができましたのも、日頃から学校教育に対して、保護者、地域の皆様のご理解とご支援のおかげと思っております。ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。

さて、さいたま市では令和4年度までに、全市立学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入することになりました。本校では、今年度コミュニティ・スクールの準備校として申請し、認められましたので、来年度より実施する予定です。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条6)に基づいた仕組みです。もう少し、簡単にいうと学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。また、コミュニティ・スクールでは、学校が抱える様々な課題についてコミュニティ・スクールを運営する方々と情報共有、情報交換を行い解決に向けて、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

急速な少子高齢化や都市化が進む中、人間関係の希薄化により、地域コミュニティの構造が大きな変化を迎えようとしています。地域が学校を育て、学校が地域を育てる、学校を核とした持続可能なコミュニティ・スクールを構築することが今、求められています。そこでは、保護者や地域住民の対話や交流が生まれ地域が活性化するとともに、潜在している地域の教育力を学校に呼び込むことで、学校の教育力の向上を図ることが期待できます。(第2期さいたま市教育振興基本計画より)

### 【今後の予定】

○コミュニティ・スクール準備委員会人選

○年3回の準備委員会開催(議論、実践、振り返り、次年度に向けて)

- ・コミュニティ・スクールについての共通理解、在り方、学校経営方針の確認及び「子どもにどんな力を身に付けさせたいか」「学校・家庭・地域が連携して取り組めることは何か」等について議論。

現在、日進小には子どもたちの健全育成のために、日進小SSN、学校評議員、学校関係者評価委員、防犯ボランティア、おやじの会、図書ボランティアひまわり、環境ボランティア、音楽ボランティア、各学年の教育ボランティア、チャレンジスクール等たくさんのボランティアさんが活動しています。コミュニティ・スクールは様々な地域の皆様や保護者の皆様の力を最大限に生かし、地域全体で子どもの成長に関わっていくものです。試行錯誤しながらの取組となるかもしれません。その時は、遠慮なく学校に対してご助言をいただければと思っています。よろしくお願ひします。

最後にお願ひです。6月いじめ撲滅強化月間が終わります。学校でも取り組んでまいりました。しかし、まだ友達に対して「何気ない一言」を言ってしまって「いやだなあ」という気持ちを持つ場合が多々あります。学校でも引き続き相手のことを考えた言動について指導してまいります。ご家庭でもこのような話題でお子様とお話する機会を作ってください。また、たくさんの本を読むことで、子どもたちの豊かな心の育成が図られると考えています。図書ボランティアさんがもう少し増えると、子どもたちへの読み聞かせの機会が増えます。お時間の都合がつく方は、ぜひ図書ボランティアさんに応募していただければと思います。